

無線通信研究委員会

SG6 会合 (ジュネーブ)

報告書

平成 30 年 4 月 27 日

目次

1. まえがき	2
2. 議事概要	2
3. SG6 会合報告	5
3.1 開会あいさつ	5
3.2 アジェンダの承認	6
3.3 会議進行に関する連絡	6
3.4 前会合の概要	6
3.5 Status of texts	6
3.6 各 WP の会合報告、出力文書審議	6
3.6.1 WP 6A 報告概要	6
3.6.2 WP 6B 報告概要	7
3.6.3 WP 6C 報告概要	11
3.7 SG6 へのその他の文書	15
3.7.1 CCV/SCV 関連	15
3.7.2 IRG-AVA, IRG-AVQA および IRG-IBB の報告	15
3.7.3 他の SG、国際機関との連携	16
3.7.4 その他の事項	17
3.8 2018 年の予定	17
3.9 その他	17
3.10 閉会	18
表 1 日本代表団 SG6 会合参加者	19
表 2 入力文書一覧(36 件)	20

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）の第6研究委員会（SG6：放送業務）が、下記の通り開催された。（敬称略）

- 開催日 : 2018年4月27日（金）（1日間）
開催地 : ITU本部（スイス・ジュネーブ）
議長 : 西田 幸博（日本）
副議長 : Abdullah AL ARAIMI（オマーン）、Roger BUNCH（オーストラリア）、Christoph DOSCH（ドイツ）、Andrew KISAKA（タンザニア）、Andrey LASHKEVICH（ロシア）、Amir Hassan NAFEZ（イラン）、Walid SAMI（EBU）
欠席 : Majeed ABDULRAHMAN（レバノン）、Ana Eliza FARIA E. SILVA（ブラジル）、Rajiv KAPOOR（インド）、Angaman KESSE（コートジボアール）、Khalilou Dit Papa NIANE（セネガル）、Paolo ZACCARIAN（イタリア）、Qingjun ZENG（中国）
参加者 : 22か国、11の認められた企業や地域機関から合わせて66名（名簿登録者）が参加。
主な国または機関からの参加者数は、ブラジル7名、中国9名、ドイツ2名、韓国6名、ロシア3名、英国4名、米国4名、BBC5名、EBU6名である。日本からは表1に示す8名が参加した。

2. 議事概要

今会合は今研究会期の第5回会合であり、3つのWP会合に続いて開催された。勧告改訂案7件の仮採択¹（PSAAを適用²）、研究課題改訂案1件の採択³、エディトリアル研究課題改訂案1件、エディトリアル勧告改訂案2件、レポート改訂案9件の承認⁴がなされた。

以下に、これらを列挙する。

[1] 研究課題改訂案(1件)、研究課題エディトリアル改訂案(1件)：2件

- Doc.6/226 Draft revision of Question ITU-R 139/6 - Methods for rendering of advanced audio formats
研究課題 139/6 改訂案「先進的音響フォーマットのレンダリング方法」
- Doc.6/244 Draft editorial revision of Question ITU-R 140-1/6 - Global platform for the broadcasting service

¹ 厳格に表現すれば「採択・承認手続きに進めることに合意した」ということになるが、これを「仮採択」と表記することにする。

² 会合後に、新勧告案または勧告改訂案に対して SG での採択と構成国による承認を同時に実施する手続きが PSAA(simultaneous adoption and approval)。詳細は決議 ITU-R 1-7 の§ A.2.6.2 を参照。SG 会合で構成国からの反対意見が無い限り PSAA による。但し、無線通信規則が参照している勧告は 2 段階手続き。

³ 新研究課題案は SG 会合の後、構成国による承認手続き、または RA により承認される。

⁴ 勧告のエディトリアル改訂、レポートの改訂・廃止、新オピニオン案・オピニオンの改訂は SG 会合で承認される。

研究課題 140-1/6 エディトリアル改訂案「放送サービスのためのグローバルプラットフォーム」

[2] 勧告改訂案：7 件

- Doc.6/220 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-1 - Advanced sound system for programme production
勧告 BS.2051-1 改訂案「番組制作のための先進的音響システム」
- Doc.6/221 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.814-3 - Specifications of PLUGE test signals and alignment procedures for setting of brightness and contrast of displays
勧告 BT.814-3 改訂案「ディスプレイのブライトネスとコントラスト設定のための PLUGE テスト信号の仕様と調整方法」
- Doc.6/223 Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1702 - Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television
勧告 BT.1702 改訂案「テレビによって引き起こされる光感受性発作の低減のための手引き」
- Doc.6/225 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-1 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange
勧告 BT.2100-1 改訂案「制作と国際的な番組交換に使用する HDR-TV の映像パラメータ値」
- Doc.6/232 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2054-0 - Multiplexing and transport schemes in multimedia broadcasting systems for mobile reception
勧告 BT.2054-0 改訂案「移動受信のためのマルチメディア放送における多重化方式・トランスポート方式」
- Doc.6/239 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1366-2 - Time code format definitions and transport in the ancillary data space of a digital television interface according to Recommendations ITU-R BT.656, ITU R BT.799, ITU-R BT.1120 and ITU-R BT 2077
勧告 BT.1366-2 改訂案「タイムコードの定義、及び、勧告 BT.656、BT.799、BT.1120、BT.2077 に準拠したデジタルテレビインタフェースの補助データ領域での伝送」
- Doc.6/245 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2055-0 - Content elements in multimedia broadcasting systems for mobile reception
勧告 BT.2055-0 改訂案「移動受信のためのマルチメディア放送におけるコンテンツ要素」

[3] 勧告エディトリアル改訂案：2 件

- Doc.6/233 Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1120-9 - Digital interfaces for studio signals with 1920 × 1080 image formats

勧告 BT.1120-9 エディトリアル改訂案「1920×1080 映像フォーマットのスタジオ信号のデジタルインタフェース」

- Doc.6/243 Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband system

勧告 BT.2075-1 エディトリアル改訂案「放送通信連携システム」

[4] 新レポート案：2 件

- Doc.6/222 Draft new Report ITU-R BS.[MIC] - Effect of microphone directivity regarding level calibration and equalization of advanced sound systems

新レポート案 BS.[MIC]「先進的音響システムのレベル調整におけるマイクの指向性の影響」
(BS.2419 として発行済み)

- Doc.6/228 Draft new Report ITU-R BT.[AIAV] - Collection of usage scenarios and current statuses of advanced immersive audio-visual (AIAV) systems in broadcast

新レポート案 BT.[AIAV]「放送における AIAV システムの使用シナリオと現在の状況」
(BT.2420 として発行)

[5] レポート改訂案：9 件

- Doc.6/224 Draft revision of Report ITU-R BT.2245-3 - HDTV and UHD TV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality

レポート BT.2245-3 改訂案「映像品質評価のための HDTV, UHD TV, HDR-TV のテスト素材」

- Doc.6/227 Draft revision of Report ITU-R BT.2390-3 - High dynamic range television for production and international programme exchange

レポート BT.2390-3 改訂案「制作と国際的な番組交換のための HDR-TV」

- Doc.6/229 Draft revision of Report ITU-R BT.2408-0 - Operational practices in HDR television production

レポート BT.2408-0 改訂案「HDR テレビ制作における運用方法」

- Doc.6/234 Draft revision of Report ITU-R BT.2400-0 - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service

レポート BT.2400-0 改訂案「放送サービスのためのグローバルプラットフォームのユースケース・要求条件・技術要素」

- Doc.6/236 Draft revision to Report ITU-R BT.2215-6 - Measurement of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers - Compatibility between DTMB and the Third or Fourth Generation Mobile Communications System

レポート BT.2215-6 改訂案「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」

- Doc.6/237 Draft revision of Report ITU-R BT.2140-0 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting

レポート BT.2140-0 改訂案「アナログ放送から地上デジタル放送への移行」

- Doc.6/238 Draft revision of Report ITU-R BT.2344-1 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting
レポート BT.2344-1 改訂案「放送で利用される SAB/SAP の技術パラメータ、運用特性および展開シナリオ」
- Doc.6/240 Draft revision of Report ITU-R BS.2388-2 - Usage Guidelines for the Audio Definition Model and Multichannel Audio Files
レポート BS.2388-2 改訂案「音響定義モデルと多チャンネル音声ファイル形式の使用ガイドライン」
- Doc.6/241 Draft revision of Report ITU-R BT.2342-0 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (latin and non-latin)
レポート BT.2342-0 改訂案「全ての文字符号のための字幕の制作・送出・交換」

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

SG6 議長の西田氏より、今研究期間の第 5 回 ITU-R SG6 会合の開会が宣言された。

SG6 議長から、BR 局長の Rancy 氏が紹介され、BR 局長からの挨拶及び SG6 議長からの挨拶が行われた。概要は以下の通り。

Rancy 氏 (BR 局長)

SG6 会合の参加者及び議長に感謝する。

ビデオコンテンツは新しいデジタル社会において重要な要素であり、その標準化及び普及はより重要となるため、SG6 での議論はコンテンツの制作及び普及のために不可欠なものである。また、地上デジタル化に向けた活動も加速している。

WRC-19 及びその先の WRC-23 に向けて、放送は再び注目される議題となるだろうが、SG6 会合参加者のすばらしい活動に感謝している。特に、先進的音響システム、AIAV、HDR-TV では新技術の活用がみられる。BR は SG6 の活動の重要性を強調し、その結果を宣伝したい。参加者には、他の国々にこの議論を広めてほしい。議長とともに本会合を成功させていただければ幸いである。

西田氏 (SG6 議長)

Rancy 氏の出席及び挨拶に感謝。

放送は視聴者にオーディオビジュアル情報を伝える効果的な方法であり、各 WP では、SG6 が放送技術の国際標準化を先導し、新しい技術の採用を進めていくべきであることを心にとめてほしい。

ITU-R の勧告とレポートは無料でダウンロードでき、BT/BS シリーズの勧告は、過去 4 年間で 100 万ダウンロードを超えた。これは、すべての ITU-R 勧告のダウンロードのうちの約 22% を占めている。また、ITU-R レポートの全ダウンロード数は約 100 万であるが、そのうち BT/BS レポートが約 25% を占めている。この結果は、SG6 の活動が広く認識さ

れ、重要であることを示している。引き続き放送サービスおよびグローバル社会に貢献できる質の高い活動を続けていきたい。

3.2 アジェンダの承認

SG6 議長よりアジェンダが紹介され、異議なく承認された。

3.3 会議進行に関する連絡

カウンセラー（Ghazi 氏）より、「INFORMATION FOR PARTICIPANTS」に基づき、事務連絡があった。

3.4 前会合の概要

SG6 議長より、前回 SG6 会合の Summary Record が紹介され、異議なく承認された。

また、前回会合後、WP6B と WP6C の議長の協力のもと、ITU ニュースに HDR-TV が取り上げられたことが述べられた。

3.5 Status of texts

SG6 が所掌する文書の審議状況等が 6/1(Rev.4)により紹介され、特段のコメントはなかった。SG6 議長より、本文書は会合後にアップデートされることが述べられた。

3.6 各 WP の会合報告、出力文書審議

3.6.1 WP 6A 報告概要

3.6.1.1 WP6A 議長の報告

- Doc.6/235 Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 17 - 25 April 2018)
「WP6A の報告」

WP6A 議長より WP6A 会合の総括が次の通りあった。

WP6A は 7 日間で 5 回のプレナリ会合を行った。80 件近い入力文書を審議し、29 件の出力文書を作成し、その多くはリエゾン文書であった。本 SG6 会合へ上程された文書は 3 件のみであるが、放送業務を保護するため WRC-19 議題の CPM テキスト案を精査し、各責任 WP へ多くのリエゾン文書を送付した。また、ハンドブックを含む既存の ITU テキストに ATSC 3.0 の情報を反映するためのグループを新たに設立した。

3.6.1.2 新レポート案・レポート改訂案

- Doc.6/236 Draft revision to Report ITU-R BT.2215-6 - Measurement of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers - Compatibility between DTMB and the Third or Fourth Generation Mobile Communications System

レポート BT.2215-6 改訂案「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」

テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定について測定手法の検討や測定結果の情報を集約したレポートに、DTMB（中国方式）と第 3 世代の通信システム

(CDMA2000、WCDMA、TDS-SCDMA) および第4世代の通信システム (TDD-LTE と FDD-LTE) の混信保護比の実験結果を追記する改訂案である。

修正なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/237 Draft revision of Report ITU-R BT.2140-0 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting

レポート BT.2140-0 改訂案「地上放送のアナログからデジタルへの移行」

地上アナログテレビ放送から地上デジタルテレビ放送への移行について各国の事例を集約したレポートに、中国におけるアナログから地上デジタル放送への移行に関する情報を追記する改訂案である。

異論なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/238 Draft revision of Report ITU-R BT.2344-1 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting

レポート BT.2344-1 改訂案「放送で利用される SAB/SAP の技術パラメータ、運用特性および展開シナリオ」

SAB/SAP (Services Ancillary to Broadcasting / Services Ancillary to Programme making : 放送補助業務・番組制作補助業務) のユースケースや使用する周波数帯などの情報を集約したレポートに、米国 (国内周波数情報の更新) と日本 (UHDTV 用 SAB/SAP の情報追加、国内 FPU 用周波数帯の更新) の情報を反映する改訂案である。

イランより、カバーページの改訂内容のサマリについて、より簡潔に表現できるのではないかとエディトリアルな指摘があったが、カバーページはレポート発行時に削除されるものであるため、修正は行わないこととなった。

修正なく、改訂案が承認された。

以上で WP6A からの入力文書の審議は全て終了した。

WP6A 議長より、WP6A には今回新たに設置されたものも含め、活動中のグループ (CG や RG) があり、参加者に対してこれらに引き続き寄与してほしいと呼びかけがあった。最後に、副議長、SWG 議長、参加者へ感謝が述べられた。

これを受けて、SG6 議長より、WP6A からの出力文書数は多くはなかったが、WRC-19 および WRC-23 に向けた準備として多くのリエゾン文書を送付したことや、地上放送の継続と放送の未来に向けた取り組みは意義深いものであったとして、WP6A 議長と WP6A の成果を称えるコメントがあり締めくくられた。

3.6.2 WP 6B 報告概要

3.6.2.1 WP6B 議長の報告

- Doc.6/242 Executive Report of the meeting of Working Party 6B (23-26 April 2018)

「WP6B の報告」

WP6B 議長の Gardiner 氏（英国）が Doc.6/242 に基づき、3+1/2 日の WP6B 会合の概要を以下の通り報告した。

前回議長レポートに添付された継続審議文書を含めて全部で 54 の入力文書を審議し、34 の出力文書を作成した。その内の 9 つの文書を SG6 に提出しており、それらは、研究課題のエディトリアル改訂案 1 件、勧告改訂案 3 件、勧告エディトリアル改訂案 2 件、レポート改訂案 3 件である。多くの継続審議となった文書、ラポータ・ラポータグループ等の活動に関する文書についても議長レポートに記載してある。

審議においては、「インタフェース、グローバルプラットフォーム、トランスポート」、「放送通信連携システム、人工知能（AI）、アクセシビリティ」、「音響関連（符号化、ストリーミング、音響メタデータ、ファイル形式）」の 3 つの SWG で効率的に進められた。

3.6.2.2 研究課題エディトリアル改訂案

- Doc.6/244 Draft editorial revision of Question ITU-R 140-1/6 - Global platform for the broadcasting service

研究課題 140-1/6 エディトリアル改訂案「放送サービスのためのグローバルプラットフォーム」

放送サービスのためのグローバルプラットフォームに対するユーザー要求の一例として記載されていた“perceptual transparency”を“degree of transparency”に変更するエディトリアル改訂案である。“perceptual transparency”の定義を検討している段階で、「オリジナル品質と見た目上全く区別がつかない品質である」という共通の認識が生まれ、グローバルプラットフォームでの番組配信でのユーザー要求例として、より適切な表現にする意図で“degree of transparency”に変更したものである。

修正なく、エディトリアル改訂案は承認された。

3.6.2.3 新勧告案・勧告改訂案

- Doc.6/232 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2054-0 - Multiplexing and transport schemes in multimedia broadcasting systems for mobile reception

勧告 BT.2054-0 改訂案「移動受信のためのマルチメディア放送における多重化方式・トランスポート方式」

マルチメディア放送の多重化方式・トランスポート方式を規定する勧告 BT.2054-0 に、アダプティブストリーミング方式として MPEG-DASH (dynamic adaptive streaming over HTTP) と関連する情報を追加する改訂案である。

Free TV Australia から、Introduction 部分に追加されたテキストを改善したいと考えており、WP6B 議長を含めたメンバーで休憩時間に変更案を作成するので、審議を後にしてほしい旨の発言があり、了承された。

審議再開後、追加されたテキストを下記のように変更することが WP6B 議長から提案され、合意された。

One of the options to improve the reliability of IP content delivery is the use of adaptive streaming. From the content providers' view, it is important to protect broadcast content against unauthorized reception and use.

上記の修正後、勧告改訂案が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/239 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1366-2 - Time code format definitions and transport in the ancillary data space of a digital television interface according to Recommendations ITU-R BT.656, ITU R BT.799, ITU-R BT.1120 and ITU-R BT 2077

勧告 BT.1366-2 改訂案「タイムコードの定義、及び、勧告 BT.656、BT.799、BT.1120、BT.2077 に準拠したデジタルテレビインタフェースの補助データ領域での伝送」

60Hz までのタイムコードの補助データ形式を規定していた勧告 BT.1366-2 に対し、60Hz までのタイムコードの定義を規定している勧告 BR.780-2 の内容を Part 1、60Hz までのタイムコードの補助データを規定する勧告 BT.1366-2 の内容を Part 2、60Hz を超えるフレーム周波数に対応するタイムコードの定義とその補助データ形式を規定する内容を Part 3 とする改訂案である。タイムコードの定義を所掌する WP6C と補助データの定義を所掌する WP6B が協力して作成された。改訂案が承認された場合、勧告 BR.780-2 の廃止が 2018 年 10 月の WP6C 会合で検討される予定になっている。

大きな改訂であるため、丁寧に改訂内容が確認された後、修正なく、勧告改訂案が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/245 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2055-0 - Content elements in multimedia broadcasting systems for mobile reception

勧告 BT.2055-0 改訂案「移動受信のためのマルチメディア放送におけるコンテンツ要素」

移動受信のためのマルチメディア放送に使用する符号化方式に ITU-T H.265 | ISO/IEC 23008-2 (MPEG-H HEVC)を追加する他、コンテンツ要素のメディアタイプを示す表 1 を更新する改訂案である。

修正なく、勧告改訂案が仮採択された (PSAA)。

3.6.2.4 勧告エディトリアル改訂案

- Doc.6/233 Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1120-9 - Digital interfaces for studio signals with 1920 x 1080 image formats

勧告 BT.1120-9 エディトリアル改訂案「1920×1080 映像フォーマットのスタジオ信号のデジタルインタフェース」

前回会合時の改訂では 1.5 Gbit/s シングルリンクのインタフェースではペイロード ID パケットの挿入を任意としたが、他の標準化団体での規格と調和を図るために、勧告 BT.709 で規定された映像を伝送する場合は挿入を任意、それ以外の映像(実質的には勧告 BT.2100 で規定された HDR 映像)を伝送する場合は挿入を必須とする内容のエディトリアル改訂案である。

BR 事務局から、タイトルに脚注を付けて、本勧告は 2018 年 4 月にエディトリアル改訂されたことを示すテキストを脚注に記載する必要があること、改訂回数を示すバージョン番号は変わらず BT.1120-9 のままであること、先に審議された研究課題のエディトリアル改訂でも同様の脚注が必要であることが述べられた。議長より、脚注は発行時に事務局にて追加されるとの認識が示され、BR 事務局から発行時にそのようにしている旨の説明があった。

修正なく、エディトリアル改訂案は承認された。

- Doc.6/243 Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband system

勧告 BT.2075-1 エディトリアル改訂案「放送通信連携システム」

勧告 BT.2075-1 には、HbbTV、Hybridcast、TOPSmedia、Ginga の 4 方式が IBB システムとして規定されており、各方式の詳細仕様は規格が掲示されている URL を参照する形で示されている。この内、韓国の TOPSmedia の URL が変更になったため、新しい URL に変更するためのエディトリアル改訂案である。

修正なく、エディトリアル改訂案として承認された。なお議長より、発行時に事務局にてエディトリアル改訂されたことを示す脚注が追加されることが申し添えられた。

3.6.2.5 新レポート案・レポート改訂案

- Doc.6/234 Draft revision of Report ITU-R BT.2400-0 - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service

レポート BT.2400-0 改訂案「グローバルプラットフォームのユースケース・要求条件・技術要素」

今回の改訂では、日本で行われた放送波と移動通信ネットワークの組合せによるコンテンツ配信モデルに関する野外実験結果の他、グローバルプラットフォームとしての 4K ブロードバンドサービス及びインターネットラジオに関するサービス例を追加している。

修正なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/240 Draft revision of Report ITU-R BS.2388-2 - Usage Guidelines for the Audio Definition Model and Multichannel Audio Files

レポート BS.2388-2 改訂案「音響定義モデルと多チャンネル音声ファイル形式の使用法ガイドライン」

今回の改訂案では、§ 3.4.2 にマトリックス用音声ファイルのためのメタデータの生成、§ 3.6.2 に音響オブジェクトから別の音響オブジェクトを参照するときの注意事項、§ 3.11 に関連がある複数の音響オブジェクトの選択と設計、§ 3.12 に重要度を示す“importance”記述子の使い方の説明を追加している。

修正なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/241 Draft revision of Report ITU-R BT.2342-0 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (latin and non-latin)

レポート BS.2342-0 改訂案「全ての文字符号のための字幕の制作・送出・交換」

ARIB 標準規格 STD-B69 に規定された、UHDTV 放送のための ARIB-TTML 字幕の交換形式に関する情報を Annex 4 - ARIB Timed Text Markup Language (ARIB-TTML) に追加する改訂案である。

EBU より、先週 W3C から、最新バージョンの TTML システムが発行されたが、この W3C のシステムと ARIB のシステムはどのような関係にあるのかとの質問があった。議長から、この分野には詳しくないが、W3C が策定した新たな仕様の TTML は ARIB の TTML とある程度の両立性が確保されていると聞いている旨の回答をした。EBU から、改訂されたレポートを W3C へ送付するなど、リエゾンを図ったらどうかとの質問があったが、議長は必要であれば ARIB が直接リエゾンを図るこ

ともでき、ITU-R として、このレポート改訂案に関して W3C とリエゾンを図る必要性はないと考える旨の回答をした。

修正なく、改訂案が承認された。

最後に、WP6B 議長から、SWG の議長を務めた青木氏(日本)、Dosch 氏(ドイツ)、Sporer 氏(ドイツ)、カウンセラーの Ghazi 氏、効率的に文書発行をしてくれた事務局、SG6 議長である西田氏、そしてすべての WP6B 参加者への感謝の言葉が述べられた。

これを受けて、SG6 議長より、3 日半という短い期間にもかかわらず多くの成果を上げたことを称えるコメントがあり締めくくられた。

3.6.3 WP 6C 報告概要

3.6.3.1 WP6C 議長の報告

- Doc.6/231 Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 16 to 20 April 2018)
「WP6C の報告」

WP6C 議長から今会合の概要が報告された。64 件の入力文書と 22 件の議長レポート添付文書を 6 つのサブワーキンググループと 12 のドラフティンググループで審議した。38 回以上の会合を開催し、結果として 11 件の文書を SG6 に上程し、10 件のリエゾン文書を送付し、18 件の文書を議長レポートに添付することとした。また、新たに AI のラポータ及び IMT 関連のラポータを指名した。

3.6.3.2 研究課題改訂案

- Doc.6/226 Draft revision of Question ITU-R 139/6 - Methods for rendering of advanced audio formats
研究課題 139/6 改訂案「先進的音響フォーマットのレンダリング方法」

先進的音響フォーマットのレンダリング方法に関する研究課題の改訂案である。元々はベースラインレンダラーとしてラポータグループにより検討されてきたが、制作用レンダラーと品質評価用レンダラーという 2 種類のレンダラーに分け、それぞれの要求条件と仕様の研究を研究課題に反映させるものである。

修正なく、改訂案が採択された。

3.6.3.3 新勧告案・勧告改訂案

- Doc.6/220 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-1 - Advanced sound system for programme production
勧告 BS.2051-1 改訂案「番組制作のための先進的音響システム」

メタデータを伴うヘッドホン再生を System Z として先進的音響システムに追加する改訂である。SG6 議長から、チャンネルベース、シーンベース、オブジェクトベースについて明確化したこと、先進的音響システムの定義についてスコープに記載したこと、キーワードに headphone を追加したことが説明された。

エディトリアルに“program”を”programme”に修正した上で、改訂案が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/223 Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1702 - Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television

勧告 BT.1702 改訂案「テレビによって引き起こされる光感受性発作の低減のための手引き」

危険な点滅回数の定義を明確化し、信号レベルの表記をアナログからデジタルコードに変更する改訂案である。

イランから、Annex に”(Informative)”を付記することについて、次の指摘があった。ITU-R の決議 1 の定義では勧告の Annex が normative か informative かが不明確であるのは確かで、この件について RAG 会合において日本から課題として提起されたが、SG レベルで informative かどうかを決定しても最終的には無線通信総会が判断するものである。私の知る限りでは Annex は formative であり informative ではない。また、タイトルに “guidance” とあるが、勧告主文はタイトルと整合している必要がある。Annex を informative として扱えるようにできるかどうかは、今後の無線通信総会への働きかけによって変わるかもしれない。

上記の指摘について、BR 事務局より次の見解が示された。Annex の位置づけについては、確かに決議 1 には Annex の扱いが明確化されていないが、正確には全ての Annex は勧告主文の一部であり、あるいはそのように見なされる。また、後者の指摘については、文書構成から guidance を information とみなしているのでタイトルに “for information” などの表現を使うことを提案する。それにより、勧告主文と Annex が提供する情報との間で一貫性が保たれる。

最終的に、Free TV Australia からの提案を基に以下の修正を加えることになった。

- ① recommends 1 の “raise awareness programme producers” を “provide guidance to programme producers” に修正。
- ② 全ての Annex の”(Informative)”を削除。
- ③ Annex1 のタイトルの”Technical information”を “Guidelines” に、Annex 2 と Annex 4 のタイトルに”Guidelines for”を追加。

WP6C 議長より、本勧告は英国と日本にとっては非常に重要な文書であり、10 年以上使われてきたが、今後も安全なテレビ視聴のために使い続けられるよう明確になったとコメントが述べられた。

上記の修正を反映した上で、改訂案が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/221 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.814-3 - Specifications of PLUGE test signals and alignment procedures for setting of brightness and contrast of displays

勧告 BT.814-3 改訂案「ディスプレイのブライトネスとコントラスト設定のための PLUGE テスト信号の仕様と調整方法」

Annex 3 の PLUGE 信号を用いたディスプレイ調整手順と Annex 4 の非基準観視条件での PQ ディスプレイの黒レベル調整式に関する記述の明確化を行なう改訂案である。

イランより「PLUGE」という用語が略語であるか確認があり、本文中に略語として使われる場合最初に出てくるところは略さずに正式名称を記載すべきだとの指摘がなされた。これ

に対し、WP6C 議長は PLUGE という言葉は 40 年以上前から ITU-R で使用されてきており、勧告主文の脚注に PLUGE という略語の起源が記載されているとコメントした。ドイツより、GSM (Group Special Mobile) という略語を引き合いに、もはや GSM は略語ではなく用語として使われており、それと同じであると説明された。イランはこれに賛同し、IMT もこれと同じだとし、略語(Acronym)ではなく用語(Term)とし、トップページの PLUGE にアスタリスクを付加し、脚注に PLUGE の名称を記載することで合意した。

上記の修正を行い、改訂案が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/225 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-1 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange

勧告 BT.2100-1 改訂案「制作と国際的な番組交換に使用する HDR-TV の映像パラメータ値」

Free TV Australia から、本勧告は 2 年前に成立してから 2 回の積極的な改訂を行なっているので、機器の相互互換の観点からも今回の改訂を機に安定期を設けた方が良いとのコメントが述べられた。SG6 議長から、今回の改訂によって安定した勧告になると信じているとコメントが付け加えられた。

修正なく、改訂案が仮採択された (PSAA)。

3.6.3.4 新レポート案・レポート改訂案

- Doc.6/222 Draft new Report ITU-R BS.[MIC] - Effect of microphone directivity regarding level calibration and equalization of advanced sound systems

新レポート案 BS.[MIC]「先進的音響システムのレベル調整におけるマイクの指向性の影響」

先進的音響システムの音響調整を行う際に、各スピーカと測定マイクロホンを設置する向きによって生じる測定誤差に関する実験結果を記載した新レポートである。

イランより、実験結果に関する第 2 章及び第 3 章のタイトルの “investigation” という表現に対し、ITU は investigation を行う機関ではないため、“analysis of work” などの表現に改めるべきとの提案がなされた。WP6C 議長は本文中に同じ単語が使われており、それを “analysis” に置き換えると不都合が生じるため “evaluation” とするのはどうかと提案したところ、イランも合意し、それぞれのタイトルを “1st Evaluation”, “2nd Evaluation” と修正することとなった。

上記の修正を行い、承認された。

- Doc.6/224 Draft revision of Report ITU-R BT.2245 - HDTV and UHDTV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality

レポート BT.2245 改訂案「映像品質評価のための HDTV, UHDTV, HDR-TV のテスト素材」

フランスからの寄与に基づき、107 枚の HDR (1,000cd/m²グレーディング) と SDR (100cd/m²グレーディング) からなる画質評価用静止画像に関する情報を追加する改訂案である。

P.22 から画像のリスト Table7, Table8 が追加、p.40 に新しい HDR に関する説明が追加、P.60 からサムネイル画像及びヒストグラム、色度図が追加、Table40 に各画像の属性が追加、p.117 に OpenEXR のファイルフォーマットに関する説明が追加されている。

修正なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/227 Draft revision of Report ITU-R BT.2390-3 - High dynamic range television of production and international programme exchange

レポート BT.2390-3 改訂案「制作と国際的な信号変換のための HDR-TV」

今回の勧告 BT.2100 改訂に伴う関連情報の更新と SDR 信号を PQ にディスプレイ参照型でマッピングする際に、 100 cd/m^2 の SDR を 200 cd/m^2 の HDR (58% PQ) にスケーリングを行う方法を追記する改訂案である。

修正なく、改訂案が承認された。

- Doc.6/228 Draft new Report ITU-R BT.[AIAV] - Collection of usage scenarios and current statuses of advanced immersive audio-visual (AIAV) systems in broadcast

新レポート案 BT.[AIAV] 「放送における AIAV システムの使用シナリオと現在の状況」

VR/360° 映像の応用事例と ITU-T など他の標準化機関での標準化状況に関する情報をまとめた新レポートであり、日本からの寄与も反映されている。EBU から、この成果をプレスリリースなどで外部に公表してどうかと提案があり、SG6 議長は、既に他の SDO にもリエゾンを送付しているが、WP6C 議長と相談したいと述べた。WP6C 議長も、HDR の時と同じように ITU の Web ページや他の媒体で見られる様にする事ができるなら光栄だとコメントした。

修正なく、承認された。

- Doc.6/229 Draft revision of Report ITU-R BT.2408-0 - Operational practices in HDR television production

レポート BT.2408-0 改訂案「HDR テレビ制作における運用手法」

肌色レベルの調査結果に関する日本、BBC、フランスからのそれぞれの寄与文書の内容を反映させた、HDR 番組制作運用方法のレポート BT.2408 の改訂案である。

修正なく、改訂案が承認された。

3.6.3.5 その他の文書

- Doc.6/230(R1) Proposed new definitions for the CCV via Study Group 6

「SG6 から CCV への新たな用語と定義の提案」

先進的音響システムや HDR 基準レベルに関連する用語と定義を ITU 用語データベースに収録する提案である。提出元を SG6 に修正した上で、CCV へ送付することが 承認された。

最後に、WP6C 議長から、次回会合に向けた積極的な活動や、今後の WP6C の活動への提案・寄与への期待、そして、各 SWG 議長のほか、副議長の清水氏（日本）やカウンセラー、事務局への謝辞が述べられた。

これを受けて、SG6 議長より、WP6C 議長のリーダーシップにより多くの成果を上げたことを称え、AI に関する研究成果への期待が述べられ、締めくくられた。

3.7 SG6 へのその他の文書

3.7.1 CCV/SCV 関連

- Doc.6/213 Liaison statement - New ITU-T Study Group 13 terms and definitions

「ITU-R SG6 へのリエゾン文書：ITU-T SG13 の新たな用語と定義」(ITU-R CCV, ITU-T SCV)

ITU-T SG13 に関する用語と定義について意見を求めている。

既に各 WP で審議された案件であり、**Noted**とした。

- Doc.6/214 Liaison statement to ITU-R Study Group 6 - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database

「ITU-R SG6 へのリエゾン文書：ITU 用語データベースへ放送に関する用語を追加する提案」(CCV, SCV)

CCV と SCV からのリエゾン文書である。SG6 から CCV へ提出した新たな用語の定義に関する提案文書について、ITU データベースに収録することが合意されたことを伝えている。

特段の意見なく、**Noted**とした。

- Doc.6/218 Rapporteur's Report on new terms and definitions

「新しい用語と定義に関するラポータ報告」(用語に関する SG6 ラポータ)

新たな用語と定義を ITU データベースに追加することを提案している。

既に各 WP で審議された案件であり、**Noted**とした。

3.7.2 IRG-AVA, IRG-AVQA および IRG-IBB の報告

- Doc.6/217 Report of the eighth meeting of IRG-IBB (Geneva, 26 January 2018)

「IRB-IGG 第 8 回会合報告」(IRG-IBB 共同議長)

2018 年 1 月 26 日に開催された IRG-IBB 第 8 会合の報告である。

既に各 WP で審議された案件であり、**Noted**とした。

- Doc.6/219 Progress Report on Intersector Rapporteur Group IRG-AVA

「IRG-AVA の進捗状況報告」(IRG-AVA 共同議長)

IRG-AVA 共同議長の Wood 氏から説明があった。先週に IRG 会合を開催したこと、ISO/IEC JTC1/SC35 のアクセシビリティ関連の文書を ITU-T や ITU-R が支持できないか要請があり、WP6C のラポータグループで検討することになったこと、ITU-T と ITU-R の両方のメンバーが一堂に集まるのが難しいことなどが報告された。

Dosch 氏から、先週の IRG-AVA 会合の報告書を作成する必要があることが指摘された。また、次回 10 月の SG6 関連会合期間中でのアクセシビリティに関連するワークショップ開催の可能性について質問があり、Wood 氏は、現時点ではアイデアの段階との回答があった。

Notedとした。

3.7.3 他の SG、国際機関との連携

- Doc.6/211 Note to the Chairman of Study Group 6

「SG6 議長への通達」(ITU-R SG 5 議長)

SG5 と SG6 の両方の承認が必要なレポート BT.2337「470-694/698 MHz の周波数帯におけるデジタル地上テレビ放送と IMT を含む地上モバイル広帯域アプリケーションの共用及び両立性研究」の改訂案について、2017 年 3 月の SG6 会合での承認後に SG5 に送付していたが、SG5 でも脚注を変更した上で改訂を承認したことを知らせる文書である。

WP6A 議長は、2017 年 11 月に SG5 で承認された後、まだ改訂されたレポートが発行されていないことに遺憾の意を示した。SG6 議長は、発行遅延の詳細理由は不明だが、速やかに発行されるべきであるとコメントした。カウンセラーは、速やかに発行作業に取り掛かることを約束した。(5 月 8 日にウェブサイトに掲載された。)

Notedとした。

- Doc.6/215 Recommendation ITU-R F.1777-2 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies

「勧告 F.1777-2 : 共用検討に用いる固定業務のテレビ中継や ENG のシステム特性」(ITU-R SG 5)

勧告 F.1777-2 の改訂を連絡する文書である。

Notedとした。

- Doc.6/216 Liaison statement on ITU inter-Sector coordination on lead SG activities

「ITU セクター間の連携と主導的な SG の活動についてのリエゾン文書」(ITU-T SG15)

ITU-T SG15 は、アクセスネットワークトランスポート、ホームネットワークトランスポート、光技術、スマートグリッドなどに関する主導的な SG であり、これらの標準化の概要と作業計画などの情報が提供するリエゾン文書である。なお、WP6A と WP6B にも同様のリエゾン文書が送付されている。

BBC より、WP6A から SG15 へ、ブロードバンドアクセスシステムの VHF/UHF 帯放送受信への関わりについてリエゾン文書を送付したことが報告された。また、SG6 議長は、WP6B からも SG15 へリエゾン文書を送付したことを補足した。

Notedとした。

3.7.4 その他の事項

- Doc.6/212 Revision of Resolution 641 (Rev.HFBC-87) and Resolution 647 (Rev.WRC-15) proposed by Study Group 6

「SG6 提案の決議 641 (HFBC-87 改訂) 及び決議 647 (WRC-15 改訂) の改訂」(BR 局長)

前回会合で決議 641 及び 647 の改訂の必要性及び改訂案を SG6 から BR 局長に連絡しており、それに対する BR 局長の見解である。既に WP6A で審議された案件であり、緊急放送に関連する SG6 の最近の活動を ITU のウェブページに反映することが紹介された。

Notedとした。

3.8 2018 年の予定

SG6 議長より次会合のスケジュールが紹介された。

Start date	End date	Number of meeting days	Group
15 October 2018	19 October 2018	5	WP 6C
16 October 2018	24 October 2018	7	WP 6A
22 October 2018	25 October 2018	3 ½	WP 6B
26 October 2018	26 October 2018	1	SG 6

また、2019 年の無線通信総会前の 2 会合の日程を 3 月と 7 月に予定していることが伝えられた。今後の会合の暫定スケジュールは、下記 URL にて参照できる。

<https://extranet.itu.int/rsg-meetings/sg6/Lists/Calendar/calendar.aspx>

3.9 その他

ロシアより、現在の HDTV 用の受信機が普及している中で、UHDTV や HDR に対応する放送システムにどのように移行していけばよいのかという課題が提起された。10bit 以上のコンテンツを表示する受信機が無く、特に地上波放送サービスにおいては移行が難しい状況であり、後方互換性を保ちつつ効率的な移行方法を検討したいと述べた。WP6B 議長および WP6C 議長は、UHDTV の勧告 BT.2020 が策定されてから相当の年数が経過しているが、UHDTV は 10 または 12 ビットの規定であり、8 ビットにしか対応していない受信機は少ないのではないかと、また、HDR の勧告 BT.2100 の HLG 方式は後方互換性を念頭に策定されたことを説明し、もし必要があれば情報を伝えることはできるとコメントした。SG6 議長は、具体的な問題点を次回会合に寄与文書として入力することを助言し、WP6C 議長は、HDR-TV のラポータグループ RG24 でも検討できると発言した。

Free TV Australia より、勧告中の Annex が informative か normative かを明記するか否かについての意見が述べられた。以前は、明記するように求められて修正したにもかかわらず、本日の会合では明記しないよう求められた。ITU-T では明確化されている。我々のためにもユーザーにとっても、今後の方針を決める必要があると述べた。これに対し、SG6 議長は、3 月の RAG 会合にて、日本から Annex や注記、脚注の使用について明確化する提案をしたが、その提案は受け入れられなかったことを紹介し、この問題は SG6 だけで解決することは難しいと述べた。WP6A 議長は、Annex を使用する場合、勧告主文から参

照されれば normative であることは当然だが、主文から参照されない場合もあると述べた。また、ドイツは、ITU-T では勧告中のそれぞれの Annex に normative か informative かを明示しており、もしそれができないとすれば 1 ページの情報のために別途レポートを作成する必要が生じると説明し、勧告の中に informative の文書を入れる際は明示すべきであると述べた。英国も ITU-T や ISO/IEC と同様とすることが望ましいと述べた。これらの議論を受けて、SG6 議長は、ITU-T 勧告や ISO/IEC 規格では勧告策定の指針や規定が明確になっている一方、ITU-R 勧告の書式は ITU-R 決議 1-7 と BR 局長ガイドラインで規定されているものの、明確になっていない。今後明確化できるよう無線通信総会や無線通信アドバイザーグループへ問題提起する必要があると述べた。

3.10 閉会

Free TV Australia の Bunch 氏から、暫定カウンセラーの Ghazi 氏への謝意を示すべく、花束贈呈が提案され、SG6 議長が代表して贈呈した。

最後に Dosch 氏（前 SG6 議長）と SG6 議長より挨拶があった。

Dosch 氏(独)

カウンセラー、SG6 議長に感謝します。SG6 議長の WP での議論する姿勢、人柄、有能さを称賛します。

西田氏(SG6 議長)

今回会合における多くの寄与に感謝します。我々の任務は続きます。皆様からの寄与をお願いすると共に、将来の放送サービスについてのビジョンを共有しましょう。同時通訳者、カウンセラーの Ghazi 氏、我々を支えてくださった皆様に感謝します。次回 2018 年 10 月会合にて皆様とお会いすることを楽しみにしています。SG6 を閉会します。

以上で SG6 会合は終了した。

以上

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

谷田 葉	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係 係長
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部 研究主幹
西本 友成	日本放送協会 技術局計画部 副部長
三谷 将	日本放送協会 技術局計画部
青木 秀一	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部
清水 勉	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社 TBS テレビ 技術局 JNN 技術戦略部 担当部長)
甲斐 創	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術開発部 担当副部長)
武田 篤	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社フジテレビジョン 総合技術局 IT 技術センターデジタル技術推進部 兼務 技術センター技術開発部 部長職)

表 2 入力文書一覧(36 件)

	入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
1	[210]	Chairman, SG 6	Summary record of the fourth meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, 13 October 2017)	Noted
2	[211]	Chairman, SG 5	Note to the Chairman of Study Group 6	Noted
3	[212]	Director, BR	Revision of Resolution 641 (Rev.HFBC-87) and Resolution 647 (Rev.WRC-15) proposed by Study Group 6	Noted
4	[213]	ITU-R CCV, ITU-T SCV	Liaison statement - New ITU-T Study Group 13 terms and definitions	Noted
5	[214]	CCV and SCV	Liaison statement to ITU-R Study Group 6 - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database	Noted
6	[215]	SG 5	Recommendation ITU-R F.1777-2 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies	Noted
7	[216]	ITU-T SG 15	Liaison statement on ITU inter-Sector coordination on lead SG activities	Noted
8	[217]	Co-Chair, IRG-IBB	Report of the eighth meeting of IR-IBB (Geneva, 26 January 2018)	Noted
9	[218]	Rapporteur on Terminology, SG 6	Rapporteur's Report on new terms and definitions	Noted
10	[219]	Co-Chair IRG-AVA	Progress Report on Intersector Rapporteur Group IRG-AVA	Noted
11	[220]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-1 - Advanced sound system for programme production	PSAA
12	[221]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.814-3 - Specifications of PLUGE test signals and alignment procedures for setting of brightness and contrast of displays	PSAA
13	[222]	WP 6C	Draft new Report ITU-R BS.[MIC] - Effect of microphone directivity regarding level calibration and equalization of advanced sound systems	承認
14	[223]	WP 6C	Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1702 - Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television	PSAA
15	[224]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2245 - HDTV and UHD TV including HDR-TV test materials for assessment of picture quality	承認
16	[225]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-1 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange	PSAA
17	[226]	WP 6C	Draft revision of Question ITU-R 139/6 - Methods for rendering of advanced audio formats	採択

	入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
18	[227]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2390-3 - High dynamic range television of production and international programme exchange	承認
19	[228]	WP 6C	Draft new Report ITU-R BT.[AIAV] - Collection of usage scenarios and current statuses of advanced immersive audio-visual (AIAV) systems	承認
20	[229]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2408-0 - Operational practices in HDR television production	承認
21	[230Rev1]	WP 6C	Proposed new definitions for the CCV via Study Group 6	承認
22	[231]	Chairman, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 16 to 20 April 2018)	Noted
23	[232]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2054-0 - Multiplexing and transport schemes in multimedia broadcasting systems for mobile reception	PSAA
24	[233]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.1120-9 - Digital interfaces for studio signals with 1920 × 1080 image formats	承認
25	[234]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BT.2400-0 - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service	承認
26	[235]	Chairman, WP 6A	Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 17 - 25 April 2018)	Noted
27	[236]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2215-6 - Measurement of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers - Compatibility between DTMB and the Third or Fourth Generation Mobile Communications System	承認
28	[237]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2140-0 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting	承認
29	[238]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2344-1 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	承認
30	[239]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1366-2 - Transmission of time code and control code in the ancillary data space of a digital television stream according to Recommendations ITU-R BT.656, ITU-R BT.799 and ITU-R BT.1120	PSAA
31	[240]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BS.2388-2 - Usage Guidelines for the Audio Definition Model and Multichannel Audio Files	承認
32	[241]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BT.2342-0 - Production, emission and exchange of closed captions for all worldwide language character sets (latin and non-latin)	承認
33	[242]	Chairman, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (23-26 April 2018)	Noted
34	[243]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband system	承認

	入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
35	[244]	WP 6B	Draft editorial revision of Question ITU-R 140-1/6 - Global platform for the broadcasting service	採択
36	[245]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2055-0 - Content elements in multimedia broadcasting systems for mobile reception	PSAA